平成 23 年 5 月 13 日

各　　位

会 社 名　株式会社ツカモトコーポレーション
代表者名　代表取締役社長　　瀬川　健次
（コード番号 8025 東証第 1 部）
問合せ先　取締役本部担当　　小林　史郎
（ TEL.　 03 － 3279 － 1330 ）

中期経営計画の策定について

当社グループは、2011～2013 年度を計画期間とする中期経営計画「グループ 3 ヵ年計画」を策定しましたのでお知らせいたします。

当社グループは今年度に創業 200 周年を迎え、更なる発展を期するため、自主自立の分社経営を発展させ、「グループの全体最適追求の経営」を実践し、長期に渡る持続的な成長を可能とするグループの経営基盤の確立を目指してまいります。

記

1.計画主旨

「グループの経営基盤の確立」

当社グループにおける中期経営計画においては短期的な利益の最大化を求めるものでは無く、グループの全体最適追求の経営を実践し、長期に渡る持続的な成長を可能とするグループの経営基盤の確立を目指してまいります。

2.基本方針

「採算と拡大の両立」を念頭に和装事業の黒字化と洋装事業及びその他の各事業部門における既存事業による収益の安定化と成長戦略を進め、着実な収益体制の確立と財務体質の改善を図ります。

3.数値目標　　2013 年度（2014 年 3 月期）

連結売上高　　320 億円、連結経常利益　16 億円、連結有利子負債　100 億円

4.重点施策

（1）営業施策

＜和装事業＞

和装事業は既存事業による黒字化の達成と事業構造の最適化を図り、物づくりを強みとする恒常的に収益のあがるオンリーワン企業体制の確立を図る。

＜洋装事業＞

既存事業による収益の安定化と新規事業・新規開拓の推進を図り、新しい事業領域の創出を図る。

＜陳列用器具の賃貸業＞

新規事業・新規開拓の推進を図り、着実な成長戦略の実践を図る。

＜健康・生活事業、ホームファニシング事業＞

新規事業・新規開拓の推進とグローバル戦略の実施による拡大戦略を図る。

（2）財務改善施策

キャッシュ・フロー経営の徹底

在庫削減、収益改善により有利子負債の圧縮を目指し営業資金の効率化を図ります。

（3）組織・人材育成施策

・組織活性化（事業部門別経営管理体制の整備）

より強固な収益体制の構築のため事業部門別の経営体制の構築を図り、特に和装事業の組織の効率化を優先課題として取り組みます。

・人材開発（次世代経営体制への移行）

人材の採用と育成の強化に取り組むとともに、次世代経営体制への移行準備期間と捉え、後継者人事を推進します。

以　上